

2026年6月30日
一般社団法人 日本クラウド産業協会
(クラウドサービス情報開示認定機関)


ASPIC、認定制度 18年の実績と最新の国内外ガイドライン等に基づく、 生成 AI 利用クラウドサービス情報開示認定制度を開始 ～利用者の安心とサービスの普及を後押し～

AI 技術が目覚ましい進化を遂げ、ビジネスの在り方が根本から変わった現在。事業者が既存のクラウドサービスに生成 AI 機能を付加したサービスが爆発的に増加しています。しかし、その急速な拡大は「どのサービスが本当に安全なのか？」という利用者の不安をも生み出しています。この課題を解決し、安心安全な日本の生成 AI クラウドサービスの拡大発展を強力に牽引するため、一般社団法人日本クラウド産業協会（ASPIC）（東京都品川区西五反田、会長：河合輝欣）は、新たに「**生成 AI 利用クラウドサービス（ASP・SaaS）の安全・信頼性に係る情報開示認定制度**」を開始いたします。（情報開示認定制度 Web ページ <https://aspicjapan.org/nintei/>）


「生成AI利用クラウドサービス(ASP・SaaS)情報開示認定制度」の特徴

＜クラウドサービス事業者にとってのメリットと意義＞

- 1. 生成AI特有のリスクへの対応力を客観的に証明し、他社と差別化**
生成AI特有のセキュリティやガバナンスに適切に対応していることを第三者機関が認定し、他社サービスとの明確な差別化を図れます。
- 2. 国内外の最新AIルール・ガイドラインへの準拠を強力にアピール**
「AI事業者ガイドライン」や「G7広島プロセス国際行動規範」など最新の国際ルール等を網羅した、ASPICの情報開示指針を満たすことで、高度なコンプライアンス体制を社外に示せます。
- 3. ブラックボックス化の不安を払拭し、ビジネス拡大・選定率を向上**
利用基盤モデルやAIの出力に関する責任分担などの「透明性」を適切に開示し、利用者の不安を解消します。また、SaaS利用者の約44%が「情報開示認定」を参考にしているため、取得が直接的な選定率向上やビジネス拡大につながります。
- 4. 新制度でも安心の「手厚いサポート」と「圧倒的な低コスト」**
事務局による無料の個別相談など丁寧な支援を提供します。また、類似のセキュリティ認証制度に比べ非常に安価な審査料金で認定取得が可能です。
(※制度開始を記念し、2028年3月末まで新規申請手数料無料)



認定マーク



認定証

図 1 生成 AI 利用クラウドサービス（ASP・SaaS）情報開示認定制度の特徴と認定マーク

■ なぜ今、「生成 AI」に特化した認定制度が必要なのか？

現在、国内外で 1,000 を超える生成 AI クラウドサービスが提供・または提供が検討されています（2025 年 ASPIC 調べ）。多くの事業者が既存のサービスに生成 AI 機能を付加して利便性を高めている一方で、セキュリティや AI 特有のリスク、情報漏えいなどに対する懸念も同時に高まっています。生成 AI を利用したサービスが大変多く登場する中で、利用者が自社の要件に合った安全なサービスを正しく比較・評価し、選定することは極めて困難な状況です。だからこそ、客観的な第三者機関による「適切な情報開示」の認定が不可欠なのです。本認定制度により、利用者は不透明なリスクに悩まされることなく、安心・安全に生成 AI クラウドサービスを選択・利用できるようになります。

■ 独自ノウハウを結集！新時代の「情報開示指針」を策定

この新認定制度を実現し、確固たるものにするため、ASPIC は新たに「生成 AI 利用クラウドサービス（ASP・SaaS）の安全・信頼性に係る情報開示指針（第 1.0 版）」（公表ページ：<https://aspicjapan.org/nintei/ga-nintei/idp-publish>）を独自に策定しました。

これは、総務省と連携して私たちが過去に培ってきたガイドラインや情報開示指針策定（33 件の支援実績）の豊富なノウハウと認定制度を 18 年運営してきたノウハウを十分生かして策定したものです。総務省の情報開示指針をベースとしながら、生成 AI 特有のリスクやガバナンス要件にしっかりと対応するため、以下の最新の国際ルールや国内外のガイドラインを網羅・参照して策定されました。

【政府系ガイドライン等】

- ・ AI 事業者ガイドライン（第 1.1 版）,総務省、経産省,令和 7 年 3 月 28 日
- ・ AI のセキュリティ確保のための技術的対策に係わるガイドライン, 総務省, 令和 8 年 3 月 27 日
- ・ AI セーフティに関する評価観点ガイド(第 1.10 版),AI セーフティ・インスティテュート(AISI), 令和 7 年 3 月 28 日
- ・ AI の利用・開発に関する契約チェックリスト, 経産省, 令和 7 年 2 月

【国際行動規範、国際標準】

- ・ 高度な AI システムを開発する組織向けの広島プロセス国際行動規範,G7 主要 7 カ国, 2023
- ・ ISO/IEC 42001 (JIS Q 42001 AI マネジメントシステム),令和 7 年 8 月 20 日

■ ASPIC が誇る「18 年の実績」と「AI 分野への先見性」

私たち ASPIC は、クラウドの黎明期から業界を牽引してきました。情報開示認定機関として 18 年にわたる確かな実績を持ち、これまでに累計 336 サービスを認定し、事業者のビジネス拡大に貢献してきました。近年では、SaaS 利用者の約 44%が、この情報開示認定を選定条件や参考にしています（2023 年独立行政法人情報処理推進機構（IPA）調べ）。さらに、AI 分野においても私たちは早くから動いています。2022 年には総務省と連携し、「AI を用いたクラウドサービスに関するガイドブック」および「情報開示指針」の策定を強力に支援しました。そして同年、他に先駆けて「ASP・SaaS（AI クラウドサービス）の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」を開始し、申請事業者の審査を通じて、すでに確かな実績と知見を築いています。詳細は、別紙 1 を参照ください。

これらの実績をもとに、ASPICは、

「生成 AI 利用クラウドサービス (ASP・SaaS) の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」
の新設を実施し、7月1日より新規申請者の募集を開始いたします。

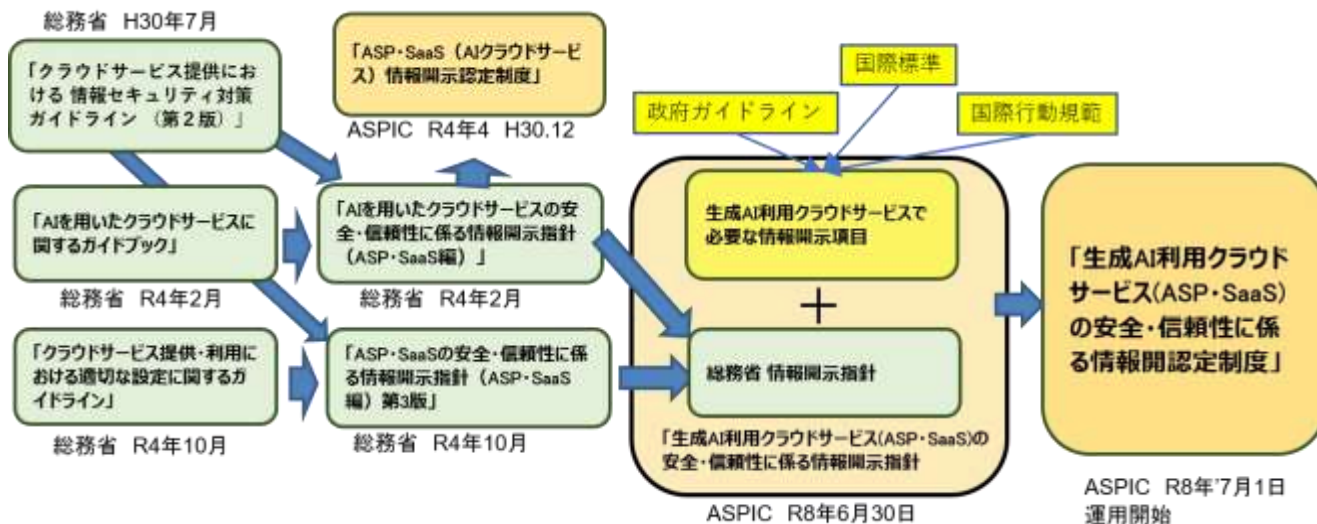


図2 生成 AI 利用クラウドサービス (ASP・SaaS) 情報開示認定制度の策定の経緯

■ 認定機関として、日本の生成 AI クラウドの発展に寄与

今回の「生成 AI 利用クラウドサービス情報開示認定制度」は、これまでの実績とノウハウの集大成です。ASPIC は中立的な第三者機関として、客観的かつ公正な審査を行います。本認定を取得することで、事業者の皆様は「安全で信頼できる生成 AI クラウドサービスである」という強力なブランドを手にすることができます。

このように、利用者が安心して選べる環境を作ることで、私たちは日本の生成 AI クラウドサービスのさらなる拡大と発展に寄与してまいります。

クラウドサービス事業者の皆様、ぜひ本制度をご活用いただき、貴社サービスの信頼性を世にアピールしてください！

(※) 既に当協会の他分野 (ASP・SaaS、AI クラウドサービス、医療情報など) の情報開示認定を取得されている事業者様につきましては、個別に申請のご案内・ご相談を承りますので、末尾の事務局窓口まで直接ご連絡ください。また、初めて申請される事業者様向けの無料個別相談も随時受け付けております。

■ 一般社団法人 日本クラウド産業協会 (ASPIC) について

ASPIC は、1999 年に「ASP インダストリ・コンソーシアム・ジャパン」として創立された、日本初のクラウド業界団体です。創立以来四半世紀にわたり、「ASP・SaaS・クラウドの普及促進と市場拡大」「安心・安全なクラウドサービスの推進」「ASPIC の組織強化と社会的なプレゼンスの向上」を目標に掲げ、日本の情報通信産業の発展に取り組んでまいりました。

長年にわたるこれらの功績は、政府からも高く評価されています。

- ・2008 年：ASPIC が団体として「総務大臣表彰」を受賞
- ・2012 年：河合輝欣会長が個人として「総務大臣表彰」を受賞

・2023年：河合輝欣会長が「旭日小綬章」を受勲

これらの栄誉は、ASPICが日本のクラウド産業を代表し、社会経済活動を支える重要な組織として公式に認められた証しです。現在、会員数は1,400社を超え、業界最大規模の団体として「第3の創業期」を迎え、AI時代における新たなビジネスの創出と支援を推進しています。

詳細は、下記リンクをご参照ください。 <https://www.aspicjapan.org/>

また、最近の活動の詳細については、「ASPICクラウドマガジン」を参照ください。

https://www.aspicjapan.org/information/cloud_magazine/pdf/vol3.pdf

■ 本件連絡先（申請受付窓口）

一般社団法人日本クラウド産業協会

クラウドサービス情報開示認定機関 事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田 7-17-7 五反田第1 noteビル 5F

担当 : 岩田・池田・尾坂

TEL : 03-6662-6854

Fax : 03-6662-6347

mail : aspic@cloud-nintei.org

認定サイト : <https://www.aspicjapan.org/nintei/>

お問い合わせフォーム : <https://aspicjapan.org/nintei/contact/>

クラウドサービス情報開示認定制度の経緯と現状

- 平成 19 年、情報開示認定制度については、安心安全なクラウドサービスの推進のため、総務省と ASPIC が合同で「ASP・SaaS 普及促進協議会」を立上げ、この協議会で、ISO27001 を参照したセキュリティ対策ガイドラインの策定、ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示指針の策定を行い、この指針をもとに、情報開示認定制度の検討、立案を行いました。
- 平成 20 年 4 月、「ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」を創設し、認定機関を FMMC、認定事務局を ASPIC として、運営を開始しました。
- 平成 24 年 9 月、ISO27017 を参照したガイドライン、情報開示指針をもとに「IaaS・PaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」及び「データセンターの安全・信頼性に係る情報開示認定制度」を新設しました。
- 平成 29 年 10 月、認定機関は FMMC から ASPIC に移管されました。
- 平成 29 年 10 月、「医療情報 ASP・SaaS 情報開示認定制度」、「特定個人情報 ASP・SaaS 情報開示認定制度」を新設しました。
- 平成 30 年 12 月、「ASP・SaaS (IoT クラウドサービス) 情報開示認定制度」、「IaaS・PaaS (IoT クラウドサービス) 情報開示認定制度」を新設しました。
- 令和 4 年 4 月、「ASP・SaaS (AI クラウドサービス) 情報開示認定制度」を新設しました。
- 令和 8 年 7 月、「生成 AI クラウドサービス (ASP・SaaS) 情報開示認定制度」を新設しました。

これまでに認定されたサービスは、**累計 336 サービス、225 事業者**となっています。

詳細は、下記リンクを参照ください。

<https://www.aspicjapan.org/nintei/about.html>